

# ネットワークと情報の架け橋

「キーストーンアライアンス」は、北海道から沖縄まで全国からプロのFPメンバが結集し、顧客のための高品質なトータルライフサポートを行う組織だ。その中心人物である石野毅さんは、元ソニー生命のエグゼクティブライフプランナー。「全国にいる顧客へ長期的なフォローと、顧客がより豊かな人生を送る伴走者としてのスタンスでいたい」と同組織を設立。その思いに共感を持ったメンバーが結集し、現在は約30名まで拡大した。なぜ、今アライアンスなのか。キーストーン立ち上げまでの歩みと石野さんの思いを聞いた。

## 顧客重視のスタンス強化

「キーストーン」とは、両端から石を積み上げて作るアーチ型の橋の最上部の楔形の石のこと。日本語では要石(かなめいし)と言ひ、石橋の出来上がり最後のこの要石を打ち込むことで、びくとも動かないほど頑丈になる。人的ネットワークや情報の架け橋となる要石でありたい」という思いのネーミングなのである。

キーストーン誕生の背景には、石野さんのLPとしてのステップアップに伴う葛藤があった。それを一つひとつと紐解いて

「キーストーン」とは、1997年、アパレルの営業担当からソニー生命に入社した石野さん。売手市場、顧客無視ともいえる旧態依然のアパレル会社に疑問を持ったことで、自らソニー生命に電話を掛けた。

「ソニー生命には非常に優秀な営業マンがいると聞いて関心を持った」と、自分が加入している生命保険の仕組みが分からなかったため、保険を見直したいと電話を掛けました。どんな人がどんな営業をするのかも興味津々でした。そしてソ

ニ生命の理念を聞いて、お客さまが真に望んでいるものを提供できる

「知人に義理で加入してもらおうことに抵抗感があったこと、何より今後

も続けられるという自信を付けたかったので飛び込みから始めました」

「丁度、その頃は、日産生命が破綻した時期で、その企業内でのことが話題になっていたらしいです。生保に対する

不信感から、ソニー生命は良いらしいな」という話題になっていた所へ偶然、私が訪問したわけ

です」



**石野 毅**  
(キーストーンアライアンス 代表)  
ソニー生命元社員  
1997年入社  
2003年よりエグゼクティブ  
2005年よりエグゼクティブ  
2008年よりエグゼクティブ  
2009年よりエグゼクティブ  
2010年よりエグゼクティブ  
2011年よりエグゼクティブ  
2012年よりエグゼクティブ  
2013年よりエグゼクティブ  
2014年よりエグゼクティブ  
2015年よりエグゼクティブ  
2016年よりエグゼクティブ  
2017年よりエグゼクティブ  
2018年よりエグゼクティブ  
2019年よりエグゼクティブ  
2020年よりエグゼクティブ  
2021年よりエグゼクティブ  
2022年よりエグゼクティブ  
2023年よりエグゼクティブ  
2024年よりエグゼクティブ  
2025年よりエグゼクティブ

## 伴走者としての存在を目指す

「キーストーンアライアンス」

その頃、石野さんは一

つの疑問を抱くように

なった。全国にいる多く

の顧客に対して、「二生

涯私がフォローします」と

宣言したものの、遠距離

の顧客をフォローし続けるのは物理的に困難ではないかということだ。そこで保全のために考えたのが、「二生



一番内側のアーチが「アライアンスメンバー」、2番目が「キーストーンパートナー」、3番目が「キーストーンアドバイザー」(IT等で活躍されている方、いろいろなビジネスコラボレーションができる人たち) その外側に顧客で、番外側は社会全体への広がりを出す。

「毎週、返信はがきは10通位来ます。これによってお客さまとの絆が深まったと感じています。というのも契約後2〜3回しかお会いして

その後、ネットワーク

た研修会で、生命保険の話をしてくれと依頼された。

「テーマは保険業界の流れと、今後は生命保険をどう考えていったら良いのか」でした。そこから多くの組合員に紹介され、お客さまが増えていきました」

こうして、紹介の連鎖が成功し6年目でエグゼクティブライフプランナーに昇格した。そのプロセスで石野さんは、次のようなツールや組織を構築し、より顧客重視のスタンスを強化した。

「私の仕事のスタンスは『お客さまがより豊かな人生を送るための伴走者であること』です。そのキーストーン倶楽部から法人契約が続出し、石野さんの内面では、次のステップに向かう時期が到来した予感があった。

こうして、石野さんは同じ志を持ったメンバーたちでアライアンスを組み、多くの英知を結集すれば、お客さまにとってベストフィットする案を提供できる」と思った。

「キーストーン倶楽部」

「キーストーン倶楽部」

「キーストーンアライアンス」

「キーストーンアライアンス」

「キーストーンアライアンス」

「キーストーンアライアンス」

「キーストーンアライアンス」